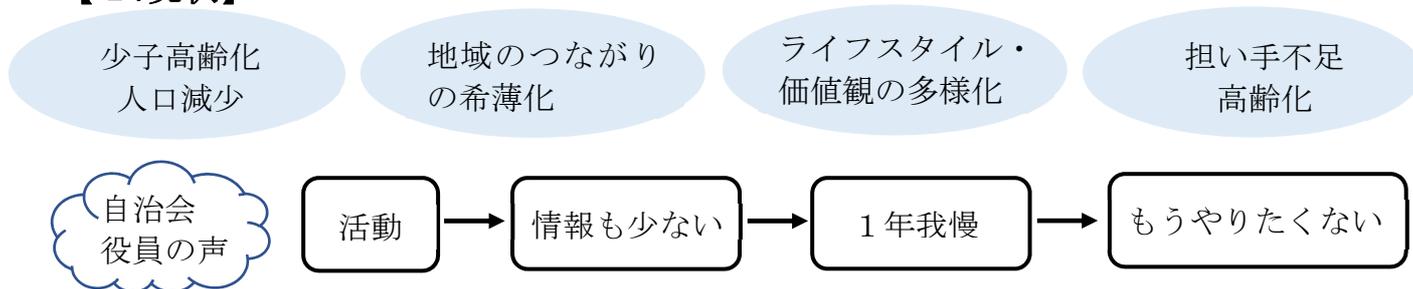


【1.現状】



⇒地域のコミュニティが維持できなくなる

⇒これまで、あたり前だったことができなくなる

【2.これからの地域のあり方と現在の課題】

例) 介護の場合

身体が元気

⇒友人・地域とのつながりが多い。趣味を通じた活動や地域活動へ参加することで、多様で幅広いつながり。

支援や介護が必要

⇒友人・地域とのつながりが希薄に。医療や介護など専門サービスとの関りが増える。元気な時より、もっと多くの目や声、手が必要になってくる。

≪これからは、地域生活から切り離されず、専門職だけで支えない。地域も一緒に関りを持っていく。(住民同士の助け合い) ≫

- ・一緒に買い物や体操
- ・掃除のお手伝い
- ・近所でカフェ、サロンなど

何か起きてからでは、対応が困難なことが多く、行政の手助けも限界あり。

⇒自分たちの地域は、自分たちで“つくり”“まもり”“育てる”ためには、地域内における住民同士の助け合いが重要。

【3. 地域内における助け合い】

地域で見えてきた課題に対しては、様々な解決手法があります。

- ・地域内連携による解決（相互連携）
- ・外部発注による解決
- ・地域内組織を見直し、新たな組織による解決（地域まちづくり協議会）

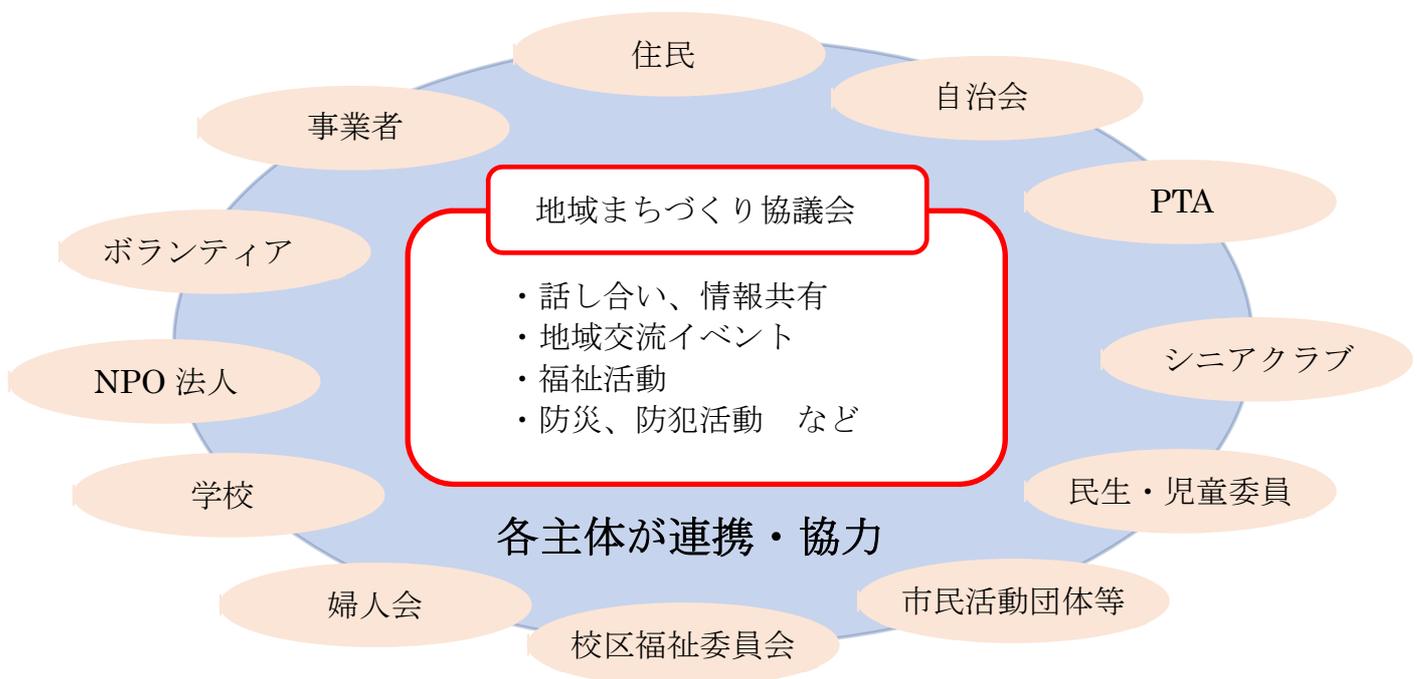
【4. 地域まちづくり協議会】

- ・地域内の様々な関係者が参加する組織が、地域の課題解決に向けた取り組みを持続的に実践するため自主的な組織形成をめざす。
- ・地域で様々に活動している団体や個人がつながり、自分たちの地域のことを話し合い、より良い地域づくりを進めるため地域の住民が主役となって地域コミュニティや地域の活性化をめざす。

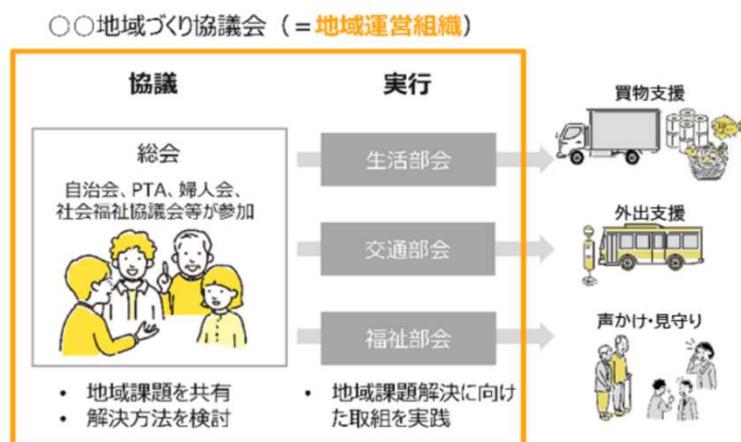
【5. 地域まちづくり協議会の活動】

- ・地域の課題、地域の特性・資源を見つけ、活動の方針を話し合う
- ・お互いの情報共有、交換の場
- ・地域の身近な課題を解決するための活動
- ・地域振興、交流イベントなどのコミュニティ形成に関する活動
- ・健康づくり、福祉の増進に関する活動
- ・暮らしの安全・安心、防災に関する活動 など

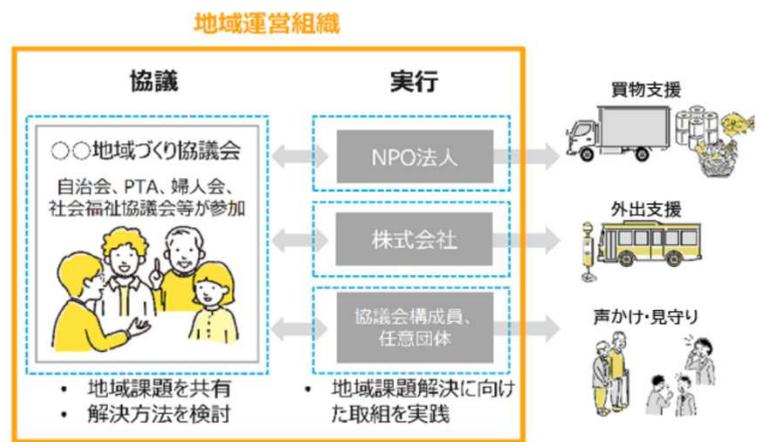
まちづくり＝身近な居住環境に対して働きかけ、暮らしや地域をより良いものにするために取り組む持続的な活動のこと。



(一体型のイメージ)



(分離型のイメージ)



出典:令和3年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究事業報告書